

受験番号	
------	--

氏名	
----	--



2025年度 東京未来大学入学者選抜試験  
一般選抜[筆記試験型] B日程(2月12日実施)

# 国語



## 【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験時間は1科目60分です。
- 3 原則として、途中退出は認められません。試験中に気分が悪くなった人や、トイレに行きたくなった人は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、シャープペンシル又は鉛筆で記入してください。
- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 「やめ」の合図があったら速やかに筆記用具を机の上に置いてください。
- 8 試験終了後、問題冊子、答案用紙はすべて回収します。
- 9 その他、必ず監督者の指示に従ってください。



# I 現代文 一般選抜「筆記試験型」 B日程（2月12日実施）

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

この国ではもの知りであることがことさら<sup>ア</sup>トウトばれるという傾向がとても強く、「もの知り＝頭がよい」という、じつに<sup>イ</sup>タラケ的な評価をたやすく得ることができている仕組みになっています。

もの知りクイズチャンピオンになったタレントや芸人は、それだけで人気者になりクイズ番組の常連の座を勝ち取ります。しかし、わたしに言わせれば、これっぽっちもすごいことではなく、なぜそこまで称賛を集めるのかが理解できません。

たとえば芸人でクイズチャンピオンという人がいますが、①ものは知っているのですが、肝心の本業の漫才がちっとも面白くない。つまり知識量はチャンピオンになるくらいあるのに、知識の加工能力がきわめて低いため、芸に生かすことができず伸びていけないわけです。

この手のタイプは、「学歴をはじめとして高いスペックと知識をもっているのに、何か残念だな」という印象を人に与えます。

しかし、なぜこのようなもの知り礼賛現象が起きてしまうのでしょうか。先に例に挙げた芸人も、言ってみれば「すごいもの知り」ではなく「単なるもの知り」にすぎません。「もの知り業」という職業があるのであれば成立するのもかもしれません。

しかし、現実の世界では、もの知りになることを究極の目的にしたところで、それはまったく性能の悪いスマホにさえなれないというレベルの話になってしまいうわけです。

A Iのシンギュラリティにどう対応するかが論じられているこの時代に、ある知識をひけらかしたところで、すぐに相手にそれ以上の内容の知識をスマホで検索されてしまうわけです。②、こうなると知識の獲得だけを目的にすることには意味がないということになります。

知識を百科事典や耳学問で地道に増やしていかなければならなかった昔なら、一定レベル以上の知識をもっていれば、「へえすごい」という話になったでしょう。しかしこれからは、

知識量の多さは頭のよさを保証しない。

知識量の多さだけでは優位性は保てなくなる。

この点はきちんと押さえておくべきでしょう。

わたしたちに必要なのは、知識をふまえて、どのように「自分独自のものの見方、考え方を展開できるか」、つまり「( I )」を思考の材料としてどう活用できるか」、そのことに尽きるのです。

知識の多さを賢さの証しとして称賛しがちなこの国では、同様に常識(定説)、理論・学説などについても、何ひとつ疑うことなく、絶対的真理として信奉してしまう傾向がしばしば見られます。

しかし、そもそもある時代に支持されている知識や常識、理論・学説などは、これを下支えする前提条件が変われば、当たり前のことですがその都度、書き換えられていくものなのです。

たとえば20世紀の医学は「人体構造はみな同じである」という前提条件のもと、個性差を考慮しない医療が当たり前でした。ですから、ある疾患に対しては、

A が行われていたわけです。

しかし、同じ治療をしても、ある患者には効果が見られるが、ある患者には効果が出ないという、<sup>⑤</sup>ソウ効率の差が問題になってきます。これが「人体構造はみな同じである」という20世紀型前提条件の限界でした。

こうしたことから、近年では「人体構造には( II )がある」という前提条件が変わってきています。今世紀に入ってから遺伝子のゲノム解析が飛躍的に進み、診断・治療法の研究開発も加速度的に進展しています。

( ③ )、個性差に応じた「個別化医療(PHC ≡ Personalized Healthcare)」の研究が進んでいます。これはある疾患に対して投薬治療を行う前に、コンパニオン診断薬を用いて、副作用が出やすい体質なのかそうでないのかを調べ、副作用が出にくい体質の患者に対して治療薬を投与するというものです。

あるいは、がん治療においては、疾患関連遺伝子の解析情報に基づき、よりの確な( III )を出しやすい分子標的薬の開発なども急速に進められています。

ですから、いまわたしたちが生きる時代に正しい知識、正しい学説と思われるものも、数年後、数十年後には、「かつてはこんな信じられないような学説が幅を利かせていたんですよ」と面白おかしくテレビで取り上げられるのかもしれない。

医学の世界で言えば、現在、健康常識として信じられている説も、じつは20世紀型前提条件の影響下でつくられたものが、ほとんど言っていない形でまかりとおっているのも事実です。いまはまだ多くの支持者を集める説であっても、数年後にはまったくの間違いだつたと判明することがないとは言いきれません。どんな高名な権威が提唱する説であっても、それがその分野の最終回答ではないということなのです。

(和田秀樹『60歳からは勉強するのをやめなさい』SBクリエイティブ株式会社より 一部改変)

一 文章中の(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

ア トウト|ばれる      イ タン|ラク的      ウ ソウ|効率

二 文章中の①・②・③に入る最も適当な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア すると      イ そのうえ      ウ なぜなら      エ たとえば      オ つまり  
カ しかし      キ また      ク そのかわり      ケ たしかに

三 文章中の(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)に入る最も適当な言葉を、文章中の他の部分から探して、(Ⅰ)・(Ⅲ)は漢字二文字で、(Ⅱ)は漢字三文字で答えなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

四 文章中の、Aにはどのような言葉が入るか。「くに対してもくをする」という書き方で、二〇字以内にまとめて書きなさい。ただし、句読点も一字とする。

〔五〕次に示す一段落が、本文中から欠落している。正しく挿入した場合、後に続く段落の最初の五文字を答えなさい。(句読点がある場合は、句読点も一字とする。)

これを見てもわかるように、いわゆる知識と言われるものは、「とりあえずいまの時代のこの状況では、こう考えられていますよ」ということにすぎず、つねに新しいものに入れ替わっていく。それは不変ではないし、未来永劫ゴウキョウにわたって適応可能というわけではないのです。

〔六〕筆者が文章中で述べている内容と合致しないものを、次から二つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 現代社会では、単にももの知りであることは、昔ほど大きな意味をもたない。
- イ 現在広く知られている治療方法でも、今後、間違いだったと判明する可能性もある。
- ウ 知識や常識、理論や学説は、その前提条件が変われば、変化するのは当然である。
- エ AIが、人が担っていた仕事を奪っていくことに、どう対応するかが論じられている。
- オ 日本では、知識の多さを重要視するだけでなく、常識に疑いをもたずに信じる人が多い。
- カ 人体構造には個体差があるので、個体差に応じた医療が行われるようになってきた。
- キ もの知りであることには価値がないから、知識を記憶するために学習する必要はない。

## Ⅱ 言語事項・文学史 一般選抜〔筆記試験型〕 B日程（2月12日実施）

一 次の①～⑤の傍線部の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。なお、ひらがなは丁寧に書きなさい。

- ① この道の凸凹には、いつも悩まされている。
- ② 座礁した船の救助に向かう。
- ③ 態度が翻る。
- ④ 叔父は養蜂家だ。
- ⑤ この状況はまさに合従連衡だ。

二 次の①～⑤の空欄に、上に示した意味になるようにあてはまる漢字一文字を書き入れなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

- ① 少しの時間も置かずに、すぐということ。 「間（ ）を入れず」
- ② ものごとの判断や理解が早いこと。 「目から（ ）へぬける」
- ③ 昼も夜も休みなく働くこと。 「夜を昼に（ ）ぐ」
- ④ 勝利や功名を相手にゆずること。 「（ ）を持たせる」
- ⑤ 役に立たないもののこと。 「（ ）夜に提灯」

三 次の①～③の問いに答えなさい。

① 次のア～カから、川端康成の作品を二つ選んで、記号で答えなさい。

- |   |      |   |       |   |       |
|---|------|---|-------|---|-------|
| ア | 真理先生 | イ | 春琴抄   | ウ | 雪国    |
| エ | 風立ちぬ | オ | 伊豆の踊子 | カ | 城の崎にて |

② 直木賞と同時に制定された、文学に関する賞に冠されている作家の氏名を、ひらがなで答えなさい。なお、ひらがなは丁寧  
に書きなさい。

③ 次のア～クから、②で答えた作家の作品を二つ選んで、記号で答えなさい。

- |   |       |   |      |   |      |   |           |
|---|-------|---|------|---|------|---|-----------|
| ア | 坊っちゃん | イ | 人間失格 | ウ | 三四郎  | エ | セロ弾きのゴーシュ |
| オ | 風の又三郎 | カ | 斜陽   | キ | 蜘蛛の糸 | ク | 羅生門       |

### Ⅲ 現代文 一般選抜「筆記試験型」 B日程（2月12日実施）

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

皆さんは雑草を育てたことがあるだろうか。

雑草とは、勝手に生えてくるものであって、わざわざ雑草の種を播まいて育てる（Ⅰ）な人は少ないだろう。

私は雑草の研究をしているので、雑草を育てる。ところが、雑草というのは、いざ育てようと思うと、なかなか簡単ではない。

（①）、種子を播いても芽が出ないのだ。

野菜や花の種子であれば、土に播いて水を掛けてやれば、数日のうちには芽が出てくる。ところが、雑草の場合は土に播いて水を掛けてもなかなか芽が出てこない。そうこうしているうちに、播いてもいない雑草の方が芽を出してきてしまったりするから、難しい。

植物の発芽に必要な三つの要素は何だろうか？

教科書には、「水、酸素、温度」と書いてある。

そのため、暖かい時期に、土を耕して空気が入りやすいようにしてから種子を播き、水を掛けてやれば、水と酸素と温度の三つが揃そろって芽が出てくるのである。

（②）、雑草はこの三つの要素が揃っても芽を出さない。

それは、雑草が「休眠」という性質を持つからなのである。

「休眠」というと休眠会社や、休眠口座など、働いていないという良くないイメージがある。何しろ、「休眠」は「休む」「眠る」と書くのだ。たくましい雑草の戦略が、「休む」「眠る」というのは、情けないような気もするが、そうではない。「休眠」は雑草にとって、もっとも重要な戦略の一つなのである。

休眠は、Aである。

野菜や花の種子は、播けばすぐに芽が出てくる。野菜や花の種子は人間が適期を見定めて播いてくれる。そのため、すぐに芽を出すことが得策なのである。芽を出す時期は、人間が決めているのだ。

しかし、雑草の種子は発芽のタイミングを自分で決める必要がある。

雑草の種子が熟して地面に落ちたととしても、それが発芽に適しているタイミングとは限らない。たとえば、秋に落ちた種子が、そ

のまま芽を出してしまうと、③ やってくる厳しい冬の寒さで枯れてしまう。また、まわりの植物がうつそうとシゲっていけば、芽を出しても光が当たらずに枯れてしまう。

いつ芽を出すかという発芽の時期は、雑草にとってはⅡ 問題なのである。

もっとも、種子が落ちた時期と発芽に適した時期が異なるということは、雑草以外の野生植物にとっても重要な問題である。そのため、雑草を含む野生の植物は、種子が熟してもすぐには芽を出さない仕組みを持っている。この仕組みは「一次休眠(内生休眠)」と呼ばれている。

一次休眠は発芽に適する時期を待ったための休眠である。たとえば、種皮が固くて水分や酸素を通さないようになっており、時間が経つと皮がやわらかくなって酸素が通って芽を出すような「硬実種子」と呼ばれる種子もある。アサガオの種子に、やすりやナイフで傷をつけると芽が出やすくなるのは、アサガオが硬実種子だからである。

また、春に芽が出る種子は、「春」という季節を感じて芽を出す。

種子が熟した秋も春と気温はよく似ている。

種子はどのようにして、春であることを知るのだろうか。

植物の種子が春を感じる条件は、「冬の寒さ」である。冬の低温を経験した種子のみが、春の暖かさを感じて芽を出すのである。

見せかけの暖かさは、やがて訪れる冬の寒さの前触れに過ぎない。長く寒い冬の後だけに本当の春がやってくる。だから種子は見せかけの暖かさにぬか喜びすることなく、じつと冬の寒さを待っているのである。冬の寒さ、すなわち低温を経験しないと発芽しない性質は「低温要求性」と呼ばれている。低温に「タ」えるのでなく、低温を必要とし要求しているのである。

「冬が来なければ本当の春は来ない」

何だか人生にもシサ的な、種子の戦略である。

(稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』筑摩書房より)

一 文章中の(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを、漢字に直しなさい。なお、漢字は楷書で丁寧書きなさい。

ア シゲって      イ タえる      ウ シサ

二 文章中の①・②・③に入る最も適当な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- |         |       |        |       |
|---------|-------|--------|-------|
| ア さて    | イ むしろ | ウ ところが | エ だから |
| オ このように | カ および | キ まず   | ク やがて |

三 文章中のⅠ・Ⅱに入る最も適当な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| ア 頑固 | イ 死活 | ウ 勤勉 | エ 品質 | オ 酔狂 | カ 枝葉 |
|------|------|------|------|------|------|

四 文章中のAに入る最も適当な言葉を次から一つ選んで、記号で答えなさい。

- |                       |
|-----------------------|
| ア 同じ種類の雑草が同時に覚醒する戦略   |
| イ すぐには芽を出さないという戦略     |
| ウ 発芽に必要な三つの要素を排除する戦略  |
| エ 芽を出す時期を遅らせて養分を増やす戦略 |
| オ 種子が熟して地面に落ちたら発芽する戦略 |

五 文章中のBには、波線部「冬になっても、春のように暖かな日」と同じ意味を表す四字熟語が入る。  
四字熟語を漢字で書きなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

Bに入る最も適当な

問題は以上です。









